

「あいちロボットトランスフォーメーションARX」の実証実験、 11月3日豊田スタジアムのサッカーJリーグの試合にて、エイム・ テクノロジーズのサービスロボットのAIM ROBOTsシリーズが活 躍。

豊田スタジアムのVIPルームに料理やドリンクの配送でエイム・テクノロジーズのサービスロボットのAIM ROBOTsシリーズが活躍、愛知県の大村知事や豊田市市長にも熱心に視察いただきました。

豊田スタジアムは今年20周年を迎え、今後IoTやロボットなどによる先端サービスや技術の導入の検討の一環として、ARXに参加されました。

AICHI ROBOT ARX TRANSFORMATION

11月3日のJ1の34節の名古屋グランパス対柏レイソル試合が行われた愛知県豊田市の豊田スタジアムにおいて、弊社はVIPルーム（28室）への料理、ドリンクの配送サービスをAIM RobotsのSAKURAを使い運用の実証実験を行いました。特に、その中の一室では、ロボットがドアの前まで来たことをアマゾンエコーにより音声で通知する機能を実装し大変好評でした。

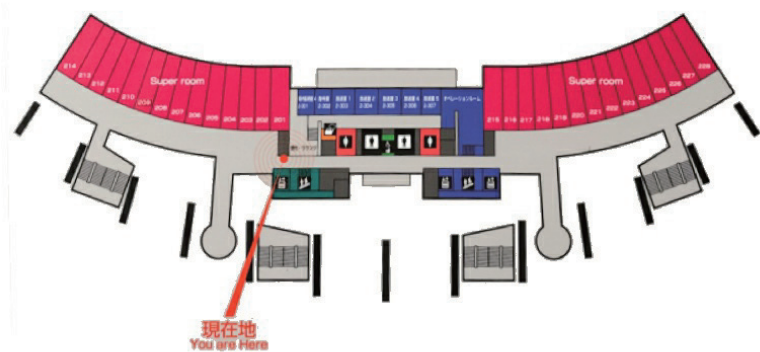




愛知県の大村知事や豊田市の市長には視察いただき、大変熱心な質問をいただきました。



現在は、内線電話から料理の注文を音声で行い、スタッフが2Fのパントリーまで4階の厨房からカートで運び、その後ドリンクを追加し部屋まで手動で持っていき、ノックするという手順ですが、ロボットにより大幅な省力化ができ、その分VIPの方へのサービスが行える利点などが実証できました。



今後は、この実験での成果に基づき、実際の導入に向けてスマホでの注文からエレベータ連携による厨房から直接VIPルームまで配送することや、お客さまを迎えてガイドすることや映像配信によるサイネージなどを行うマルチサービスができるロボットとしてスポーツスタジアム等の施設へ提案していく予定です。



弊社は、サービスロボットで社会の課題を解決するソリューションプロバイダーとして引き続き愛知県の事業に積極的に参加し、実証実験での経験と成果をより良い商品開発に寄与できるようにしていく所存です。ご期待ください。

AI based service robot AIM Robots SAKURA

(AIサービスロボット AIM Robots SAKURA)

配膳ロボット「SAKURA」は扉が着いているため誤配や誤動作が起きにくい構造です。全面のディスプレイはお客さまが座ったまま受取のオペレーションができるほか、キャラクターアニメーションなどの様々な演出や告知にも使えます。また、背面扉を観音開きやロールアップタイプに変更出来、トップにオープントレイを取り付けることも可能です。



【会社概要】

会社名：エイム・テクノロジーズ株式会社

所在地：東京都港区虎ノ門4-3-1 城山トラストタワー4階

代表者：吉本万寿夫

設立：2019年9月

URL：<https://aim-tech.jp>

事業内容：

- ・ 自立AIサービスロボットの開発・販売
- ・ 日本発ものづくり（デザインとユーザの要望は日本で、製造は中国、米国、日本、市場は世界に）
- ・ 企業の課題をロボットとAIとIoTで解決するソリューションプロバイダー



【お客様からのお問い合わせ先】

営業担当 金田晃

TEL：03-5244-4301

e-mail：robot@aim-tech.jp

【本リリースに関する報道お問い合わせ先】

堀裕一

TEL：03-5244-4301

e-mail：robot@aim-tech.jp

当プレスリリースURL

<https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000008.000083878.html>

エイム・テクノロジーズ株式会社のプレスリリース一覧

https://prtmes.jp/main/html/searchrlp/company_id/83878